

登録コード	MA001000		開講年度	2026			
授業科目名	病院実習					担当教員	上原 剛
英文授業名	Practice in Hospital					副担当	北口 良晃・内藤 隆文
単位数	2	講義期間	集中(夏期)	曜日・時限	集中・不定期	対象専攻／学年	
講義室				授業形態	実習	授業科目区分	
信大コンピテンシー	非該当						
(1)授業の達成目標	【ディプロマ・ポリシー】授業で得られる「学位授与の方針」要素					⇄	
	MS 2 6 カリ(医科学)・医科, MS 2 5 カリ(医科学)・医科, MS 2 4 カリ(医科学)・医科, MS 2 3 カリ(医科学)・医科						
	【医科学】基礎医学および臨床医学に対する基本的知識、技能および技術を修得し、自主的に検討することができる。					⇄	医科学を学ぶための動機付けとして、その原点であり還元の場合である臨床現場を体験し、病院の組織とその中で行われている内容を正しく理解する、さらに医療の現場で将来求められる業務、システムなどの開発の基盤となる考え方を形成する。
(2)授業の概要	1 学年を、複数のグループに分け、中央診療部門の臨床検査部、医療情報部、薬剤部を各5時限ずつ集中体験・見学実習を行う。 医療の現場をグループごとに行動するので以下の点を遵守すること。 1) 遅刻、無断欠席をしない。 2) 服装は活動しやすいもので、不快感を与えないものとする。 3) 清潔な白衣を着用する。 4) 履き物は、汚れない音の立たない運動靴とする。 5) 礼儀正しい行動を基本とする。 6) 医療現場の規則を尊重する。 7) 現場の指示に従って行動すること。						
(3)達成目標（一般学習目標G I O）	医科学を学ぶための動機付けとして、その原点であり還元の場合である臨床現場を体験し、病院の組織とその中で行われている内容を正しく理解する、さらに医療の現場で将来求められる業務、システムなどの開発の基盤となる考え方を形成する。						
(4)達成目標（個別行動目標S B O s）	授業計画を参照。						
(5)授業計画	医療情報部 7月24日（金） 医療情報部（南中央診療棟2階） 集合 薬剤部 7月30日（木） 旭総合研究棟 9階 修士講義室 集合 臨床検査部 8月5日（水） 臨床検査部カンファレンスルーム（南中央診療棟2階） 集合 ***** 【医療情報部】 1. 医療情報概論 医療における情報活用の重要性を理解し、情報収集能力を養う。 2. 病院情報システム概論 病院情報システムの概要について理解し、病院内での情報化について学ぶとともに分析能力を養う。 3. 病院情報分析概論 病院情報システムに蓄積される情報の分析や活用について事例から概要を学び、情報発信能力の重要性を学ぶ。 4. 遠隔医療概論 情報通信技術を活用した遠隔医療について、地域医療支援の観点からその概要を学ぶ。 5. 病院情報システム実習 病院情報システムを実際に利用し、そのシステムが果たす役割について理解を深めるとともにグローバルな情報発信能力の重要性 【薬剤部】 6. 臨床薬学入門 病院における薬剤師の業務を理解し、それぞれの業務が果たす医療従事者、患者との関わりとその意義などを学ぶ。 7. 医療薬学概論 医薬品適正使用のための良質なエビデンスを構築し、薬の専門家である薬剤師が科学的根拠に基づいて薬物療法を実践するために必要な知識・技能の基本を理解する。 8. 調剤学概論 薬物治療における調剤学の重要性を理解する。処方から調剤までの流れを理解する。 9. 医薬品情報学概論 薬物の適正使用に向けての医薬品の情報の収集と評価の意義を理解する。またその収集法と評価法を学ぶ。 【臨床検査部】						

(5)授業計画	10. 臨床検査医学入門 臨床検査が医学においてどのような役割を果たしているか理解し、情報収集能力と分析能力を養い、情報発信できる能力を身につける。 11. 遺伝子診断学概論 遺伝子検査が、臨床検査においてどのような役割を果たしているかを理解し、情報収集能力と分析能力を養い、情報発信できる能力を身につける。 12. 病理診断学概論 病理診断学が、臨床検査においてどのような役割を果たしているかを理解し、情報収集能力と分析能力を養い、情報発信できる能力を身につける。 13. 細菌検査学概論 細菌検査が、臨床検査においてどのような役割を果たしているかを理解し、情報収集能力と分析能力を養い、情報発信できる能力を身につける。 14. 臨床化学・臨床血液学概論 臨床化学・臨床血液学が、臨床検査においてどのような役割を果たしているかを理解し、情報収集能力と分析能力を養い、情報発信できる能力を身につける。
(6)授業の進め方	実習形式 指定された実習日の集中講義である。 実習予定 医療情報部：1グループで1回 薬剤部：1グループで1回 臨床検査部：1グループで1回
(7)履修上の注意・事前事後学習の内容	(a) 履修上の注意 実習には真摯な態度で臨むこと。 見学の際は白衣と内履きを着用すること。 実習終了後に課すレポートはWordファイルで作成し、設定された期日までに電子メールで提出すること。 (b) 事前事後学習の内容 実習項目ごとに資料を配付するので、レポートを作成する際によく復習すること。
(8)成績評価の方法	実習終了後に、実習の内容に関連したレポートの課題を課す。
(9)成績評価の基準	レポートによる判定基準は、下記の通りとする。 90点以上 秀、89－80点 優、79－70点 良、69－60点 可、59点以下 不可 レポートは、(i) 実習内容の設定が適切であり、(ii) 各実習項目の意義・概念を説明できており、(iii) 各実習項目にどのような課題があるのかを指摘できており、(iv) それらの課題に対して各部門が提示する解決法が適切に把握できており、(v) その上で自分の見解を提示できており、かつ、教員を感心させるレベルにあれば「卓越している（秀）」。(i)から(v)の5項目を満たしていれば「かなり上にある（優）」。4項目までできていれば「やや上にある（良）」。3項目までできていれば「合格水準にある（可）」。
(10)学生へのメッセージ並びに質問、相談への対応	本実習は、病院の中央診療部門を見学し、病院の機能を理解すること、多くの部門が高度医療を支えていることを認識することを目標とするものである。したがって、各自が将来病院において貢献可能な内容や部門を探るような意識で実習に臨んでいただきたい。 実習中および終了後に、随時質問を受け付ける。それ以外の時間帯であれば、オフィスアワーは特に設定しないので、予めメールで日程調整を行い、質問・相談しに来てください。
【テキスト、教材、参考書】	実習項目ごとに資料を配付する。